

43 千臨技一般検査精度管理フォトサーベイ 第1報

○渡邊一博(国保松戸市立病院) 西周裕晃(公立長生病院) 安藤正(君津中央病院) 久代真也(社会保険船橋中央病院) 古谷公英(順天堂大学浦安病院) 田中雅美(成田赤十字病院) 水野由喜子(東京歯科大学市川総合病院MBCラボ) 伊瀬恵子(千葉大学医学部附属病院)

【はじめに】千臨技一般検査精度管理フォトサーベイをインターネットを利用して行なった。正解、解説、解答集計について報告する。

【設問1】正解：白血球円柱 87/94(92.6%)  
上皮円柱 5/94(5.4%) その他 2/94(2.2%)  
円柱内に白血球を3個以上含んでいる円柱であるため、白血球円柱と判定した。

【設問2】正解：ビリルビン結晶 93/94(98.9%)  
サルファ剤結晶 1/94(1.1%)  
黄褐色、針状の結晶で、尿定性ビリルビン陽性、結晶溶解試験、生化学検査直接ビリルビンの結果よりビリルビン結晶と判定した。

【設問3】正解：異型細胞(扁平上皮癌細胞含む) 22/94(23.4%)  
尿細管上皮細胞 66/94(70.2%)  
その他 6/94(6.5%)  
無染色では、細胞質は灰色で均質の構造を呈し、扁平上皮細胞の特徴を有している。またS染色では、非常に細長い繊維状の細胞の核は脱核または不明瞭になっており、一部に濃染性に染まった核が見られることより異型細胞と判定した。

【設問4】正解：細菌(桿菌含む) 81/93(87.1%)  
真菌 4/93(4.3%) 扁平上皮癌細胞 2/93(2.2%)  
その他 6/93(6.6%)  
細菌がβ-ラクタム系抗菌薬の長期投与により細胞壁の合成阻害を起こし、通常の二分裂増殖ができなくなり伸展したり、一部が球状に膨大することがある。真菌や細い円柱などと間違えないよう注意する必要がある

連絡先 047-363-2171(内 3014)

44 千臨技一般検査精度管理フォトサーベイ 第2報

○渡邊一博(国保松戸市立病院) 西周裕晃(公立長生病院) 安藤正(君津中央病院) 久代真也(社会保険船橋中央病院) 古谷公英(順天堂大学浦安病院) 田中雅美(成田赤十字病院) 水野由喜子(東京歯科大学市川総合病院MBCラボ) 伊瀬恵子(千葉大学医学部附属病院)

【設問5】正解：尿細管上皮細胞 27/94(28.7%)  
移行上皮細胞 52/94(55.3%) 扁平上皮細胞 6/94(6.4%)  
円柱上皮細胞 3/94(3.2%) 他 6/94(6.4%)  
細胞質は薄く、辺縁構造は不明瞭であり、核の周囲にリポフスチン顆粒が見られることから尿細管上皮細胞(オタマジヤクシ型)と判定した。

【設問6】正解：移行上皮細胞 91/94(96.8%)  
その他 3/94(3.2%)  
無染色にて多核で大型の細胞がみられる。細胞質の色調は黄色調で、表面構造はザラザラし、S染色での染色性は良好で多くの核を有する細胞であることから、移行上皮細胞と判定した。

【設問7】正解：蟯虫卵 91/93(97.8%)  
その他 2/93(2.2%)  
虫卵の大きさが50~60μm×20~30μm無色で、卵殻は厚く一端はややとがり、一辺は直線に近く他片は湾曲している特徴と虫体が糸くず状の小虫であることから蟯虫卵と判定した。

【設問8】①正解：組織球 44/90(48.8%) 単球 18/90(20.0%) 好中球 4/90(4.4%) 他 24/90(26.7%)  
新生児の脳室内出血症例であり、細胞はやや大きく細胞質は濃桃色の染色性、核は偏在、多核で不鮮明な内部構造より判定した。  
②正解：赤芽球 65/90(72.2%) リンパ球 19/90(21.1%) 組織球 3/90(3.3%) 他 3/90(3.3%)  
細胞質は背景の赤血球と同系色で、大きさも同等で均一な小円形の1つの核より判定した。

【まとめ】今回いくつかの設問で不適切な回答表現がみられた、尿沈渣 2000 や髄液検査 2002 に沿った表現で回答されることを望む。フォトサーベイの結果をこれからの研修会、フォトサーベイ等に反映させて行きたい。

連絡先 047-363-2171(内 3014)